

■今月の特選句

2021年10月



## 枯れる夢ばかり見ている水中花

青木輝子

花は枯れるものという常識が通用せぬのが水中花だ。枯れずに済むという特権があるのだが、ある時、枯れてこそ花と気が付いたらしい。



## 古書売って今宵たつぷり新走

赤瀬川至安

新酒を飲みたくても金がない。ここで価値観の大転換が起きる。本をとるか酒をとるか。新酒は今しか味わえぬものだ。今ここに生きるのだ。



## 軍歌しか知らねえと立つ敬老会

久松久子

軍歌が脳皮質にしみついている世代に、今の流行歌は歌えない。古い生き方と軍歌だけは自信があるとばかりに蛮声を張り上げる。

■今月の特選句

2021年10月



### 犯行を誇示する鴟のテロリスト

小林英昭

鴟の糞という証拠物件を諸所に残して悪びれもせず木のてっぺんで威張る鴟。しかし、鴟自身にはテロリストという自覚はさらさないのである。



### うしろから鰻の話について来る

山本 賜

後ろの人の話が耳に入ってきた。自身に関心のある事柄には耳が敏感に反応して情報をキャッチするのだ。しばらく後ろの話について行こう。



### 骨密度褒められてゐる敬老日

田中早苗

敬老日に骨密度測定があった。「田中さん、骨はお歳よりうんとお若いです。この数値なら四十代ですよ」「はい、気持ちはいつも二十歳です」。